

氏名	木戸聡史	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	呼吸理学療法学、リハビリテーション工学				
学位	博士（工学）、修士（理学療法学）				
学歴	2003年 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科卒業、2005年札幌医科大学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻博士課程前期修了、2018年千葉大学工学研究科博士課程修了				
経歴	2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教、2016年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科准教授・保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士学会、日本呼吸理学療法学会、日本支援工学理学療法学会、日本呼吸ケアリハビリテーション学会、専門リハビリテーション研究会（運営審議員）、埼玉県理学療法士会（学術編集部部員）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、呼吸機能イメージング研究会、日本生活支援工学会、日本福祉工学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	理学療法評価学テキスト（改訂第3版）	共	あり	南江堂,416ページ	木戸聡史（担当：分担執筆,範囲:バイタルサインの評価）	2026.3	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Comparison of Six-minute Walk Test Parameters by Severity of Idiopathic and Non-idiopathic Pulmonary Fibrosis	共	あり		Phys Ther Res, 28(2),122-128	Masashi ZENTA, Kenji TSUSHIMA, Tomohiro HATTORI, Jin KUBO, Natsuko MIYAMAE, Minami AKAMA, Satoshi KIDO	2025.6
2	胸郭バイオメカニクス解析に資する呼吸筋有限要素モデルの構築	共	あり		LIFE 2025 講演論文集,460-463	木戸聡史 , 東郷孝亮, 赤間美波, 福田愛結美, 善田督史, 宮前菜津子, 小栢進也	2025.10
3	Relationship between knee joint angles and infrapatellar fat pad stiffness in patients with knee osteoarthritis.	共	あり	○	Journal of medical ultrasonics (2001)	Shinya Ogaya, Satoshi Horiguchi, Riona Kaizu, Mai Tomita, Moko Kitahara, Kenta Horiuchi, Satoshi Kido , Takashi Matsuno	2025.10
4	Association between physical activity and sonographic features of the infrapatellar fat pad in older adults.	共	あり	○	The Knee,57,506-512	Shinya Ogaya, Satoshi Horiguchi, Riona Kaizu, Mai Tomita, Moko Kitahara, Kenta Horiuchi, Satoshi Kido	2025.10
5	Predicting Activities of Daily Living (ADL) Outcomes in Recovery-Phase Stroke Patients Using the Trunk Impairment Scale: A Validation Study	共著	あり	○	Cureus 17(11):e96450.	Masahiro Ishiwatari, Akihiro Ogawa, Satoshi Hakukawa, Kazuya Fukae, Masayuki Sugo, Ryo Abe, Masashi Zenta, Satoshi Kido	2025.11
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月		
1	Relationship between lung volume and endurance in patients with interstitial lung disease	共	ERS 2025	Masashi Zenta, Tsushima Kenji, Jin Kubo, Tomohiro Hattori, Natsuko Miyamae, Minami Akama, Satoshi Kido	2025.4		

2	Relationship between lung volume and quality of life in patients with interstitial lung disease	共	WPC 2025	Masashi Zenta, Tsushima Kenji, Jin Kubo, Tomohiro Hattori, Natsuko Miyamae, Minami Akama, <u>Satoshi Kido</u>	2025.5
3	原発性骨粗鬆症患者における腹部大動脈石灰化が大腿骨の予測骨強度に及ぼす影響（第2報）	共	第27回日本骨粗鬆症学会	善田督史、別所雅彦、松井ひろみ、伊藤聡一郎、小林晃、波平真人、山田正美、 <u>木戸聡史</u> 、新井健	2025.9
4	Diagnostic Accuracy of Quantitative Ultrasound (QUS) for Osteoporosis in Medical Checkups	共	AFOS 2025	Masashi ZENTA, Masahiko BESSHO, Soichiro ITOH, Mayumi Hashinuma, Akira KOBAYASHI, Masato NAMIHIRA, Masami YAMADA, <u>Satoshi KIDO</u> , Takeru ARAI	2025.9
5	気胸を合併した間質性肺疾患患者に対するHigh flow therapyと呼吸リハビリテーションの併用が奏功した症例	共	第11回日本呼吸理学療法学会学術大会	善田督史、津島健司、服部知洋、伊豆藏英明、阿部遼、水越浩道、佐藤直文、石川慧斗、赤間美波、 <u>木戸聡史</u>	2025.11
6	胸鎖乳突筋の吸気作用による胸郭変位の有限要素モデリング	共	第14回日本支援工理学療法学会学術大会, 福岡	赤間美波,宮前菜津子,善田督史,今北英高,小栢進也, <u>木戸聡史</u>	2025.12
7	ICU入室敗血症患者における 骨格筋量低下予測に対するGRIMとmNUTRICscoreの比較検討	共	第29回 日本病態栄養学会学術集会	阿部 遼, 前谷祐亮, 菅生真行, 小川明宏, 善田督史, 石渡正浩, 小山涼輔, <u>木戸聡史</u> , 北村伸哉	2026.2

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	呼吸筋・胸腹部運動・呼吸流量を一体的に表現する有限要素モデルの構築	研究代表者	2025.4～2028.3
2	埼玉県立大学・奨励研究助成金A研究	診療録と大規模言語モデルの統合によりリハビリテーション業務を変革させる方法の開発	研究代表者	2025.4～2026.3
3	埼玉大学と埼玉県立大学の共同研究に係る研究支援	マスクを用いた呼吸計測手法の開発とスポーツトレーニング・呼吸リハビリテーションへの応用	研究代表者	2025.7～2026.3
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	重症疾患における骨格筋減少を抑制するための有効な予防介入法の解明	研究分担者	2025.4～2030.3
5	2025年度日本骨粗鬆症学会研究助成事業	一般住民健診データを活用した定量的超音波法 (QUS)による骨粗鬆症スクリーニングの精度と危険因子の検証	研究分担者	2025.10～2026.10

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	内部障害理学療法学	○	6	内部障害系領域の理学療法について講義を行った
2	呼吸理学療法学	○	8	呼吸機能生理・呼吸運動生理に基づいた学修と計測機器を用いた呼吸の解析を実施した
3	身体機能運動学		1	運動負荷試験について講義を行った

4	理学療法応用技術学H（内部新領域）	○	8	内部障害の新たな領域について講義を行った
5	大学院博士前期 内部機能障害治療学特論	○	15	内部機能障害の病態理解および治療に関連した知識/技術を習得するために、講義・論文抄読・ディスカッションなどを行った
6	大学院後期課程 IPWシステム開発論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義を行った
7	大学院前期課程 IPW論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義を行った
8	大学院前期および後期課程 リハビリテーション教育学Ⅱ		2	卒後教育の実践と現状について講義を行った
9	大学院前期および後期課程 理学療法症候障害学特論		1	内部疾患における呼吸機能・呼吸筋機能の評価方法や分析方法について、最新の知見を交えて解説した
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法特別演習		1	理学療法士国家試験に準拠した内容を、単元分野ごとに整理するため、心肺系の解剖・生理・運動学・病態・理学療法についてポイントを絞って講義した
2	基礎運動療法学演習	○	3	運動療法の基盤となる運動生理学について講義と演習指導を行った
3	理学療法研究法演習		1	自身の研究領域に関する講義を行った
4	大学院博士後期 理学療法症候障害演習		1	内部疾患に対する運動負荷試験から得られる生理学データなどを用い、運動処方について機器による測定方法の実験計画とデータ収集方法について演習を行った
5	大学院博士前期 リハビリテーション学演習（内部機能障害治療学）	○	30	内部機能障害の病態理解および治療に関連した知識/技術を習得するために、講義・論文抄読・ディスカッションなどを行った
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	内部障害理学療法学実習	○	後期 18	内部障害系領域の症例に対する理学療法の評価・治療について実技指導を行った
2	運動学実習		前期 20	グループに分かれての実習について動作分析および体力良好と運動処方を担当した
3	理学療法セミナー（OSCE1）		前期 15	臨床教育実習Ⅱに向けて理学療法実践の場における対人関係や対患者関係能力を身につけるため、学生の個別指導を行った
4	理学療法セミナー（OSCE2）		後期 15	臨床教育実習Ⅲ,Ⅳに向けて理学療法実践の場における対人関係や対患者関係能力及び理学療法の基本的評価・治療技術を身につけるため、学生の個別指導を行った
5	臨床教育実習Ⅰ		2026.2	検査測定を中心とした実習後指導を行った
6	臨床教育実習Ⅱ		2025.9-2025.10	理学療法評価習得を中心とした実習中、実習後の指導を行った
7	臨床教育実習Ⅲ		2025.4-2025.6	総合実習においての実習中、実習後の指導を行った
8	臨床教育実習Ⅳ		2025.6-2025.7	地域・特定領域においての実習中、実習後の指導を行った
9	IPW実習	○	前期 45	IPW実習の科目において学生担当、地域担当を行った。
10	応用運動療法学実習		前期 8	内部障害系領域の症例に対する運動療法について指導を行った
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2026.3	主指導 4名	副指導 0名
2	修士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 2名	副指導（指導補助教員） 0名
3	博士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	学部ゼミ	2025.4～2026.3	学部ゼミ生の研究指導として週1回程度開催した	

2	大学院ゼミ	2025.4～2026.3	大学院生の研究指導として月2回程度開催した。その他研究チームミーティングを随時行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	夏の体力測定会2025	埼玉県立大学	埼玉県立大学近隣地域在住高齢者72名の身体機能測定 (2025年9月2-9月4日)	2025.9
2	理学療法学科 臨床教育実習受け入れ施設 対象講習会	埼玉県立大学	シミュレーション・センシング・機械学習で描く理学療法 の未来	2025.9
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本生活支援工学会	LIFE2026 準備委員		2026.1-2026.9
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	理学療法学科3年次生担任		2025.4～2026.3
2	学科等における委員会等	PTセミナー運営		2025.4～2026.3
3	学科等における委員会等	OSCE運営		2025.4～2026.3
4	学科等における委員会等	修了証書授与式運営		2025.4～2026.3
5	学科等における委員会等	実習指導者会議運営		2025.4～2026.3
6	学科等における委員会等	奨励研究部会部会員		2025.4～2026.3
7	学科等における委員会等	研究推進委員会委員		2025.4～2026.3
8	学科等における委員会等	IPW実習運営会議員		2025.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			